

Takashima Toujyu Kai

会報

No. 38
2025.5.20

高島藤樹会

(題字は、竹脇雲卿先生によるものです)

発行
NPO法人 高島藤樹会〒520-1224
滋賀県高島市安曇川町上小川 225-1
藤樹書院・良知館内
電話・FAX 0740 (32) 4156
<http://takashima-tojukai.com/>

未来につなぐ

藤樹先生の教え

高島藤樹会 理事
中村 眞奈美

○藤樹会と関わって

最初の一步

この会よりお誘いを受け、入会させて頂くことになり、丁度一年が過ぎようとしています。「中江藤樹」という方が江戸時代の儒学者で、陽明学の開祖である偉大な方だということは知っていましたが、それ以上のことは詳しく知らず、と言うレベルの私でした。

そんな私に、入会はのみならず組織として五つある委員会の中で「思想普及委員長」を任命され、これはどうしたものか、と悩む私でした。

藤樹会では、皆さん熱心に学ぶ機会を持っておられ、圧倒される思いで刺激を受けることで「藤樹先生の教えをどん欲に学ばなくては」と、自分に言い聞かせ、正に藤樹先生の教え通りの「和やかな顔、思いやりのある言葉、相手をやさしく見る」

を実践されている先輩の皆さんに、引っ張ってもらいながらの一年でした。

○藤樹思想の

普及活動の様子

私の所属する委員会の主な活動目標は「藤樹紙芝居を活用して、先生の教えが幅広い年齢層に親しまれるようにする」とあります。

令和六年度の活動の一つとして、私が一番印象に残っていたのは、地元、高島高校の演劇部の皆さんに紙芝居のアフレコをお願いすることに関わったことです。



高校生のアフレコの様子

顧問の先生と話し合い、また演劇部の生徒の皆さんと実際にお会いしておりましたところ、快く引き受けて頂くことが出来、三学期の寒

い日ではありましたが、録音の日を迎えました。皆さんの心のこもった迫真の演技に感動の私でした。こうして、一作品が見事出来上がりしました。もちろん今年度も引き続き、演劇部の皆さんに取り組んで頂けることになっています。

〇これから…

こうして高校生たちの藤樹先生の教えを携えての演技が、紙芝居を見た子どもたちに、つながり響いて行く：こうしたことの積み重ねで、多くの皆さんに藤樹先生ファンになってもらえるのではと、大きな願いを持ち、日々学習を深めていきたいと思っています。

それと、藤樹先生のことを知れば知るほど、いつか大河ドラマの主役にな！と強く思うようになったのは私だけでしょうか？

